カリキュラム・教科書・アセスメントコンポーネント

ニュースレター（第３３回）

新しい２年生の教科書が学校に届いています！

「登録週間」に新しい教科書を受け取る新 2 年生

新しい 2 年生の教科書が新しい学年が始まる 6 月 1 日に全国の小学校で配布されました。

新学年初日。新 1 年生は初めての教科書に興味津々です。新しいカリキュラムで 1 年間学んだ 2 年生達は、積極的に授業に参加するスタイルがすっかり板についている様子です。

ミャンマーでの教科書づくり

CREATE では目下 3 年生の教科書開発が山場をむかえています。2014 年 5 月にプロジェクトが始まってから 1 年生の教科書が配布されるまでのおよそ 3 年間は、ミャンマーでの政権交代や教育省の組織改編など大きな変化も続き、一旦決まったことが振出しに戻る、分かり合えたと思っていたら違っていた！ということの連続でした。そもそも教科書を本格的に改訂するという経験が無かったのですから。そんな産みの苦しみを経て、徐々に教科書開発や承認のプロセスが軌道に乗ってきたという感触を得ています。そこで、2 年生の教科書の承認から現在に至るまでの主な活動を、カリキュラムコンポーネントを中心にふりかえってみたいと思います。

2017 年 11 月	2 年生教科書承認（全教科）
2017 年 12 月	2 年生指導書承認（理科、ミャンマー語、社会科、道徳公民、ライフスキル、体育、音楽、図工） JICA と教育省との合同調整委員会（Joint Coordination Committee）会議開催 新カリキュラム広報ドラマ上映会 教育行政官のための新カリキュラムオリエンテーション
2018 年 1 月	2 年生指導書承認（算数、英語）、教育省による印刷手続き開始 現職教員のための新カリキュラム導入研修　中央研修
	［以降、5 月にかけて、州/管区・タウンシップ・学校の各層での研修が行われました。］
2018 年 1 月	3 年生カリキュラム開発キックオフ会議 教科別カリキュラムの更新、3 年生教科書内容の検討開始、トライアウト授業
2018 年 2 月	教科書開発ガイドラインの改訂
2018 年 3 月	3 年生教科書内容にかかる教科別委員会（SWC）との協議、 インクルーシブ化ワークショップ 1・2 年生版アセスメントガイドブック、問題集の最終化
2018 年 5 月	プロジェクト第３年次開始 国家カリキュラム委員会（NCC）による調整会議、教育大臣による激励会 1 年生教科書修正点の提出
2018 年 6 月	新学年開始、トライアウト授業再開

教科書を開発するプロセスとして、カリキュラム開発グループ（Curriculum Development Team: CDT）と専門家で内容を決め、教科書に挿入するイラストや写真を用意して教科書ページのドラフトを作成、その有効性をたしかめるべく、連日、トライアウト（試行）授業を行っています。その結果に基づいて修正しては、教科別カリキュラム委員会（Subject-wise Curriculum Committee: SWC）に報告し、そこでもらったコメントを反映させ…というプロセスを何度も何度も繰り返し、少しずつ教科書が形になっていくのです。

この後、教科書内容を承認するための国家カリキュラム委員会（National Curriculum Committee: NCC）と教科書で使われる言語を校正するためのミャンマー民族言語局（Department of Myanmar Nationalities' Languages: DMNL）による審査が続きます。

編集会議で教科書の仕様や開発手順を確認

新カリキュラム実践の現場から

トライアウト授業のため小学校を訪ねると、隣の 1 年生や 2 年生の教室で新しいカリキュラムで学ぶ子どもたちを目にすることは多いですが、なかなかその様子をじっくり見る機会がありません。

新しいカリキュラムがどのように受け止められているのか、トライアウト校でお話を伺いました。

新しい国語の教科書で文字を勉強する新 1 年生

こども達の声

- がっこうはたのしいです。たいいくでたいそうしたりなわとびするのがすきです。
- ずこうがすきです。かぞくのえをかいてしょうをもらってよかったです。

先生方の声

- 新しいカリキュラムで学んでいるこども達はクリエイティブで、恥ずかしがらずによく発言します。全校集会などで違いが歴然としますね。
- 我先にと手を挙げるので困ってしまいます。自分の苦手な教科は教えるのが難しいです。
- ご自宅で古いやり方で教えてしまう保護者の方もいらっしゃって、児童が混乱するようです。

保護者の声

- 上の子と違って暗算ができるようになっています。
- 授業で習ったことを話してくれますし、図工の作品などを持ち帰るので、学校での様子が垣間見られて嬉しいです。

2 年生の道徳の授業―隣の子と話し合ったり、積極的に発言したりしています。

インパクト調査結果速報

CREATE では、新カリキュラムの導入前後の学力や授業の様子を比較するためのインパクト調査を 4 つのタウンシップの計 200 校を対象に毎年実施しています。2018 年 1 月に行ったデータ収集をうけて、今回初めて、新旧教科書で学んだ 1 年生の比較ができるようになりました。詳細な調査結果は分析中ですが、これまでにわかっている結果を速報します。

- 新しい教科書で勉強した新小 1 児童の算数テストの平均点が、旧教科書で勉強した小 1 児童の平均点よりも有意に高い。
- 新型問題（新小 1 教科書で取り入れられたタイプの問題）ばかりでなく、旧来型の問題の正答率も新教科書で勉強した新小 1 のほうが有意に高い。

授業が大きく変わると、しばらくの間学力の向上が難しくなることもあるのですが、導入 1 年目にして学習成果に改善がみられるとは、ほんとうに嬉しい限りです！この結果を励みに、カリキュラム改訂を進めていきましょう。

ちなみに、「旧小 1 も新小 1 も、『算数が好き』と回答した児童の平均点は、『算数が好きではない』と回答した生徒の平均点よりも有意に高い」という結果も出ています。楽しいことほど身につくのは、日本もミャンマーも同じですね。ミャンマーのこども達が、楽しく、賢く、元気に、学び育ってくれることを心から願います。

カリキュラム開発チームとプロジェクト専門家・スタッフ

文責：　宮原光（プロジェクト・コーディネーター）